

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
国内旅行実務Ⅱ Travel Agency Work-Domestic Travel II		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(国内旅行業務取扱管理者試験必修)	無し
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
国内観光地理 国内旅行実務Ⅰ 旅行関連法規 旅行業務総合演習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国内観光地理 国内旅行実務Ⅰ 旅行関連法規 旅行業務総合演習				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
斎藤 清		火曜日・水曜日・木曜日		授業中に指示します
授業の概要				
前半は、前期に学んだ国内旅行業務取扱管理者試験の学習の成果を、形のあるものとして残すために、12月に実施される「国内旅行地理検定試験」の合格に向けた学習を行います。後半は、国内旅行実務の知識をより確かなものとするために、交通機関の運賃・料金、宿泊機関の料金計算の仕方をしっかりとおさらいします。				
授業の目標				
①国内旅行地理検定試験の合格に向けた知識を修得出来るようにする。 ②各種運送機関・宿泊機関の運賃・料金計算が出来るようにする。 ③旅行地理検定試験の学習を通じ、楽しく効果的に観光資源についての知識を修得出来るようにする。				
授業の方法				
前半は、国内旅行地理検定試験の合格を目指し、毎時間過去問題の演習に取り組めます。後半は運送機関・宿泊機関の運賃・料金計算の知識を深めるために、国家試験の過去問題の演習を中心に取り組みます。進め方はいずれも、練習問題・演習問題を解答させながら、解答を順番に発表させる形式とする。				
学習の成果(学習成果)				
①国内旅行地理検定試験の合格に向けた知識を修得することが出来る。 ②各種運送機関・宿泊機関の運賃・料金計算をすることが出来る。 ③旅行地理検定試験の学習を通じ、楽しく効果的に観光資源についての知識を修得することが出来る。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション(講義の進め方)			
第2回目	旅行地理検定試験過去問題演習・解説①(4級・第36回問題)			
第3回目	旅行地理検定試験過去問題演習・解説②(4級・第38回問題)			
第4回目	旅行地理検定試験過去問題演習・解説③(4級・第40回問題)			
第5回目	旅行地理検定試験過去問題演習・解説④(3級・第34回問題)			
第6回目	旅行地理検定試験過去問題演習・解説⑤(3級・第36回問題)			

第7回目	旅行地理検定試験過去問題演習・解説⑥（3級・第38回問題）
第8回目	旅行地理検定試験過去問題演習・解説⑦（3級・第40回問題）
第9回目	旅行地理検定試験過去問題演習・解説⑧（国内旅行地理検定試験受験）
第10回目	国内運賃・料金計算演習・解説（JR）
第11回目	国内運賃・料金計算演習・解説（航空）
第12回目	国内運賃・料金計算演習・解説（貸切バス）
第13回目	国内運賃・料金計算演習・解説（フェリー）
第14回目	国内運賃・料金計算演習・解説（宿泊）
第15回目	全体のまとめ

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	授業で使われる教材を準備して臨んでいる。必要なことはノートに取り、積極的に質問する。また、履修上の留意点・ルールをしっかりと守れていること。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験	80%	国内観光資源および国内運賃・料金計算の知識をしっかりと身につけていること S評価の基準：S=90-100
発表内容（態度含む）		
その他		

教科書と参考図書

国内観光資源（JTB総合研究所） 国内運賃・料金（JTB総合研究所）

履修上の留意点・ルール

3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。
遅刻厳禁。私語は慎むこと。授業途中で無断退出厳禁。携帯電話使用禁止。飲食厳禁。